

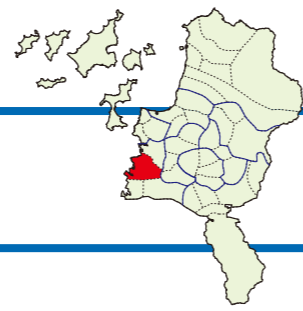
しょうせき

生石地区

面積：7.48km²

人口：19,294人（高齢化率 25.5%）

世帯数：8,521世帯

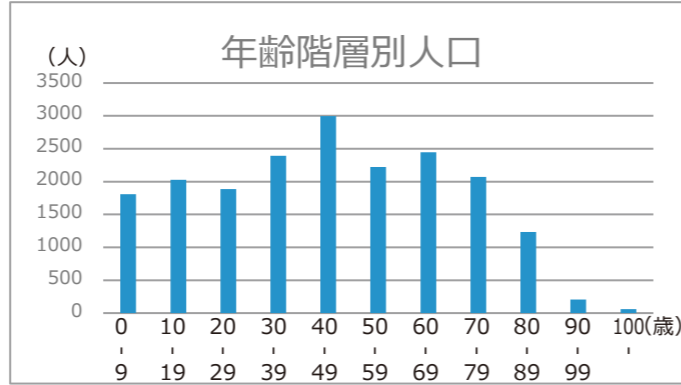


【地区の特色】

生石地区は、松山市の西部、瀬戸内海に面した位置にあり、自然と緑豊かな垣生山を中心に、伊予節で有名な吉田挿桃（さしもも）をはじめ、生石八幡神社・金刀比羅神社等、数多くの史跡が残っている。かつては、大根・ラッキョ・さつまいも等の野菜栽培が主な産業の田舎であった。戦後は、(株)帝人をはじめ次々と企業が進出し、旧軍滑走路は松山空港となり、周辺の整備事業も進み、国際化へ向って愛媛の空の玄関として大きく変わってきている。



愛媛の空の玄関、松山空港



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会と連携して、福祉マップ作り ・防災訓練に熱心 ・陸海空の交通が至便 空港があり県外へのアクセスが良好 ・買い物などスーパーが多く便利 ・避難所が多い ・公園で子どもたちがよく遊んでいる ・住民によって垣生山の整備活動が行われている ・公民館活動が盛んでコミュニケーションが取れている ・子どもたちがよく挨拶する 児童数市内No.1 ・企業OBが協力的 ・自然に恵まれている ・山側を歩くと空気がキレイ ・保育園と地域住民の交流がある ・子ども見守り隊の見守り員が多い
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポなど自治会にも入らない人達とのコミュニケーションが取りにくい ・若い人の地域行事参加が少ない ・山火事が心配 ・空港までの交通が不便（バス、電車がほしい） ・脇道の車の量が多い ・地域によるがゴミ出しの分別が守られていない ・デコボコ道が多くシルバーカーが押しにくい ・信号の時間が短いところがある ・公園の利用マナーが悪い ・通学路に水溜りが多い ・待機児童が多い ・病時保育のできる病院がない ・時間によって交通混雑、渋滞がある ・土石流の心配がある
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法により、個人情報が出ないので把握できない事が多い ・独居世帯が増加（食事などの日常生活への支援が必要） ・高齢者が話し相手をほしがっている ・高齢者のゴミ出し ・独居世帯の食事の偏り ・賃貸マンションの住民との交流 ・スーパーが多くなり、小売店が少なくなる（高齢者の買い物不便） ・役員の担い手 ・行事を行うにも他人事 ・共働き世帯の育児支援体制 ・住民同士の関わりが希薄になる ・共同募金への協力

生石地区社会福祉協議会

つないだ手 温もり伝わる 生石の輪

構成団体	地区民協・町内会長・区長・自治会長	
主な取り組み	活動内容	
地域住民の生活支援 (地域福祉サービス事業)	ゴミ出し等、高齢者の生活を地域住民の手で支えようと、協力会員、民生委員・児童委員、みまもり員が簡易な生活援助を行っています。	
生石小学校における 福祉学習	福祉学習の一環として、障がいのある人や高齢者の生活への理解促進を目的に車いすや点字、高齢者疑似体験の活動を支援しています。	
高齢者福祉講座	まちづくり協議会と連携し、主に高齢者を対象とした福祉講座を開催しています。高齢者が身近に感じる事をテーマに取り上げています。	

お一人住いの皆様と共に

独居高齢者を対象に、交流と慰労を目的とした催しを行っています。保育園児による劇や中学生によるコーラスなど、様々な関係機関と連携して絆と思いやりの種まきを行っています。平成元年から続く活動で平成30年に30回を迎えました。



<地区社協が目指すもの>

地域社会の変化と多様化、例えば新旧住民の関係、地域への愛着度、少子高齢化、防災など課題山積のなか、これまでの行事・活動を漫然と続けていては活性化は望めません。まずは地区まちづくり協議会、その構成組織・団体との連携強化と交流に努めます。すでに高齢者健康福祉講座、認知症サポーター養成講座、防災訓練、災害時要援護者対策で実績を積み、意見交換を始めている分野もあるため、この流れを地道に継続し、拡大・普遍化する先に「助け合う社会」「安全安心の暮らし」「地域文化の継承」などの展望が開けてくると考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	25名 2名	■町内会・自治会・区長会等	9団体
	■まち協の設立	平成26年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	8クラブ 7団体 16組織

生石地区の活動の魅力は、ひとつには福祉学習など子どもにアプローチする地道な「絆と思いやりの種まき」があります。成長には時間がかかるため、地区の弱みに行事参加率の低さが挙げられていますが、美しい自然と史跡が残りインスタ映えする本地区は、若い人の興味を引き、行事参加へとつながられる可能性があります。魅力の2つ目は「持続可能性への視点」です。地域福祉サービス事業において、地区社協と地区民協が一体となって、利用者のニーズに合った新たな協力会員を広く地区の住民の中から発掘し、ゴミ出しなどの生活援助が支援者にも負担のないような、体制づくりを積極的に行っています。「種」の成長が楽しみな地区です。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
中島地区	

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

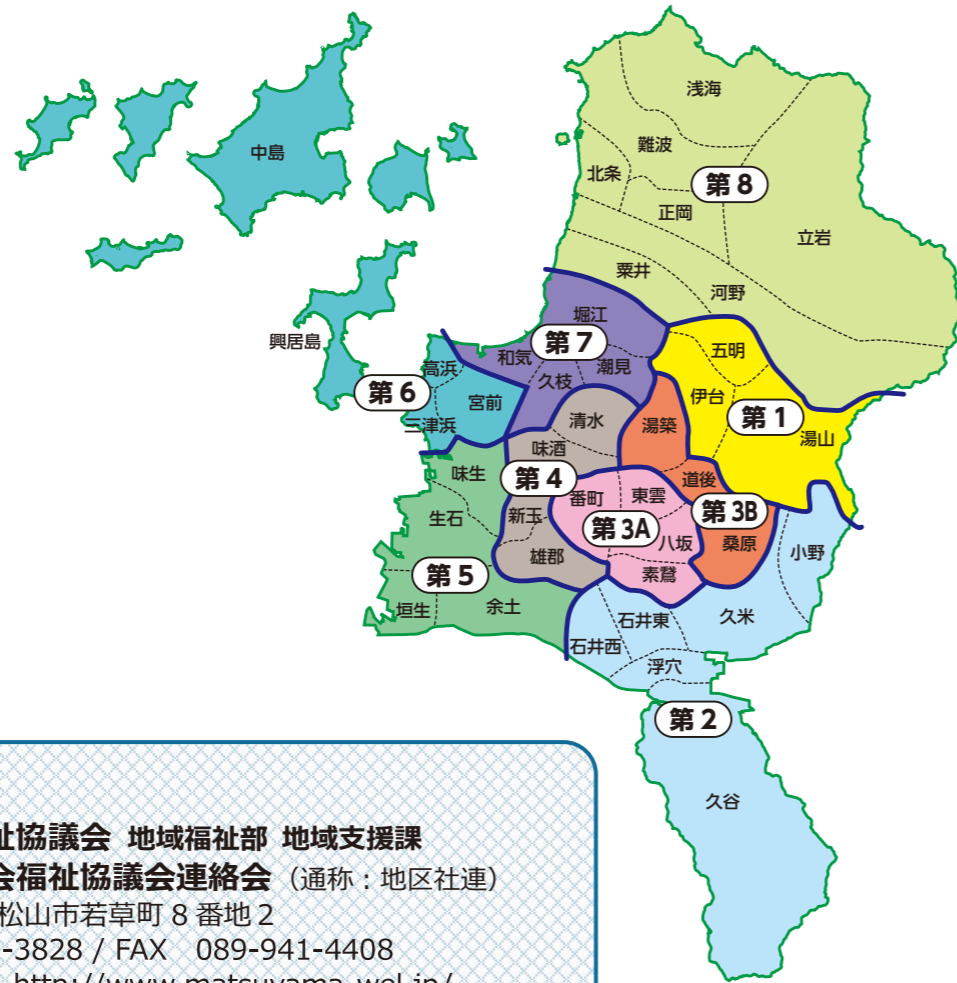
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏